お知らせ

<同時資料提供先>

令和3年11月22日

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・
山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

地方自治体が抱える課題に対し、自社製品やサービスを プレゼン希望する民間企業等および傍聴参加者を募集します

～ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」第4回ピッチイベント ～

開催日時：令和3年12月23日（木）14:00～17:00（予定）

開催形式：オンライン開催

参加者：地方自治体の維持管理担当者・民間企業等

課題：別紙-1に示す7つのテーマ

申込期限：プレゼン希望する民間企業等・・・令和3年12月6日（月）

傍聴参加者・・・・・・・・・・・・・令和3年12月17日（金）

申込方法：申込様式を電子メールで申込先（E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp）に送付

- ピッチイベントとは、地方自治体が抱える課題に対し、民間企業等が新技術などについて短いプレゼンテーションを行うものです。課題解決に繋がる技術の発掘を行い、企業間の連携や社会実装に繋げるとともに、これらの技術を広く共有することを目的としています。
- 申込要領や申込書等の詳細は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページにも掲載しています。
- 中国地方整備局は、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとなるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。
- 当日、取材を希望される場合は、オンライン配信会場（広島市東区光町2-10-11：復建調査設計株式会社 会議室）での取材を受け付けます（傍聴だけの参加も可能です）。希望される場合は、前日までに、以下の問い合わせ先へ連絡願います。来場の際は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用の上、検温及びアルコール消毒にご協力をお願いします。

問い合わせ先

【ピッチイベントの内容に関すること】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：050-9002-1744

藤井 友行（E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp）

「ちゅうごく」ホームページ URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/im/index.html>

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局 企画部 TEL：082-221-9231

事業調整官 梅田 俊夫（内線3116）

広域計画課課長補佐 今田 修（内線3212）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

第4回ピッチイベントの開催

【プレゼンを希望する民間企業等及び傍聴参加者の募集】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題(ニーズ)について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る第4回ピッチイベントを下記のとおり開催いたします。

つきましては、別紙-1に示す7つのテーマに対し、保有するシーズ技術をプレゼンテーションしていただく民間企業等及び傍聴参加者を募集します。

本ピッチイベントの結果、施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証試験の実施を想定しています。なお、実証試験に必要な諸費用については、原則として民間企業等のご負担とします。

記

■ 開催日時 : 令和3年12月23日(木) 14:00~17:00(予定)

■ 開催会場 : オンライン開催(ZOOM ウェビナー)

■ 対象テーマ

No. 1 ため池の点検に係るコストを軽減できる技術

No. 2 河川管理システムの構築

No. 3 日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線

No. 4 公園内の仮設トイレへの雨水の活用

No. 5 圧送式下水道管渠の点検調査技術

No. 6 イノシシ対策技術

No. 7 防草・除草技術

お問い合わせ先

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 企画委員会

藤井友行、天満真士 (復建調査設計株式会社)

E-mail : jcim-chugoku@fukken.co.jp

TEL : 050-9002-1744

FAX : 082-506-1891

申込要領

【プレゼンを希望する民間企業等の参加申込み】

1. 参加資格

シーズ技術を持つ民間企業等

2. 申込み手続き

申込み方法： 提出資料を電子メールにて申込み先に送付

- 提出資料： ① プレゼン希望者申込書(別紙-2)
② 情報提供を予定しているシーズ技術の概要、コスト、適用条件、
アピールポイント、開発状況、その他参考内容
(任意様式A4×1枚程度)
③ 実施事例がある場合は状況写真等(任意様式A4×1～2枚程度)

申込み先： インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会
藤井友行、天満真士（復建調査設計株式会社）
メールアドレス： jcim-chugoku@fukken.co.jp

3. 申込み期限

令和3年12月6日(月)

4. 参加者の決定

企画委員会において申込み者の中から書類選考により決定

5. 選考結果の通知

令和3年12月7日(火)に申込み者の連絡先に通知

6. 留意事項

参加申込みに際しては、次の留意事項をご確認下さい。

申 込 要 領

【傍聴参加者の参加申込み】

1. 申込み手続き

- 定 員 : 100名(申込み先着順)
- 申込み方法 : 提出資料を電子メールにて申込み先に送付
- 提出資料 : 傍聴参加者申込書(別紙-3)
- 申込み先 : インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会
藤井友行、天満真士 (復建調査設計株式会社)
メールアドレス: jcim-chugoku@fukken.co.jp

2. 申込み期限

令和3年12月17日(金)

3. 留意事項

参加申込みに際しては、次の留意事項をご確認下さい。

留意事項

【知的財産権に関する主な留意事項】

- ピッチイベントは、オープンな場として運営することを基本とし、自らの技術を紹介する場合には、自らの責任においてこれを行うことが求められており、秘匿すべき情報はその場に持ち込まないことを前提とします。
- 一方、議論する中で様々なアイデアが出されることが想定され、これを基に、ある参加者が発明を創出し、特許出願などにより知的財産権が成立する可能性も否定できません。
- アイデアを得て参加者が技術開発を行い、発明に至った場合や申請を行った場合には、技術開発を行った者に知的財産権が認められるものと考えられます。
- また、議論を通じ、技術開発の共同グループが形成される場合には、知的財産の取扱いについて、あらかじめ当事者間で取決めておくことが望ましいです。
- 参加者は、この基本的な考え方に同意して出席する必要があります。

【著作権に関する主な留意事項】

- 参加者は、提出した資料等に係る著作権に関し、企画委員会等が当該資料を利用（複製や公衆通信などを含みます）することを許可することとし、また著作者人格権を行使しないことに同意することとします。
- また、参加者は、提出資料に記載された文書、図表、写真、イラストなどの著作権等に留意し、使用許可が必要な場合は、参加者の責任において必ず許可を得ておくこととします。

※参加者には、「インフラメンテナンス国民会議運営上の知的財産の取扱いに関する事前の取決めとなるガイドライン」を通知いたします。

テーマ No. 1 : ため池の点検に係るコストを軽減できる技術

【求める技術】

ため池の堤の法面などため池全体の状況を平時より低コストで把握可能な技術

【条件等】

◇特になし

テーマ No. 2 : 河川管理システムの構築

【求める技術】

河川管理上のデータ(河川区域、河川管理施設、工事内容等の河川カルテ情報など)を一元的に管理できるシステム

【条件等】

- ◇安価であること
- ◇操作が容易であること(高度であれば更新等が行われなくなる)
- ◇カスタマイズが容易であること(河川法、通知等で対象、内容が将来的に変わる可能性がある)
- ◇幅広い情報を一元的に集約できること
- ◇現地でもタブレット等で情報が見られること

テーマ No. 3 : 日交通量1万台以上でも10年間耐久する白線

【求める技術】

- ・施工及び材料単価が安く摩耗しにくし材料
- ・天候に左右されない材料
- ・滑り止め機能や反射機能が損なわれない材料
- ・交通開放までに時間を要しない材料
- ・排水性舗装でも目詰まりをしない材料
- ・簡易補修ができる材料
- ・仕上がり厚が1.5mm以下で施工可能なこと

【条件等】

◇下地がアスファルト舗装またはコンクリート舗装

テーマ No. 4 : 公園内の仮設トイレへの雨水の活用

【求める技術】

仮設トイレへの水の供給

【条件等】

◇灌水用として雨水活用

テーマ No. 5 : 圧送式下水道管渠の点検調査技術

求める技術	条件等
圧送式下水道管渠内の腐食状況や劣化度の点検、調査を送水しながら行う技術	◇水を抜かず送水しながら可能であること ◇画像や動画を撮影、記録できること ◇データを集積し劣化具合を自動診断できること
圧送式下水道管渠内の点検ができる技術	◇特になし
圧送式下水道管渠内の点検ができる技術	◇点検項目は下水道ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング(JSWAS G-1)の損傷 ◇下水道管渠の内径はφ150mm、φ200mm、φ250mmのいずれか ◇点検延長は400m～1,200m
圧送式下水道管渠内の画像診断	◇極力断水することなく管内点検の画像診断ができること(最小口径75mm) ◇安価であること

テーマ No. 6 : イノシシ対策技術

求める技術	条件等
イノシシが土羽部分等を掘り返して土構造物を損傷するほか道路の落石の原因となっており、イノシシの掘り返し被害を防ぐ技術	◇特になし
公園内においてイノシシによる掘り返し等の被害を軽減させる技術	◇施工が容易であること ◇安価であること ◇公園利用者の安全性が確保されること
・イノシシ対策の柵を遠隔操作による高さ等の変更が容易にできる技術 ・柵を遠隔操作で移動または自動で最適な場所を見つけて移動する技術 ・止めざし(止めを施す)を実施する機能の付いた技術	◇設置、操作が容易であること ◇安価であること ◇メンテナンスが少ないこと ◇安全性であること

テーマ No. 7 : 防草・除草技術

求める技術	条件等
道路路側等に繁茂する草を簡単に除去できる技術	<ul style="list-style-type: none"> ◇多額の費用を要しないこと ◇管理延長が長いことから極力簡易な方法であること
オオキンケイギク(特定外来生物)の効果的に駆除する技術	<ul style="list-style-type: none"> ◇環境への負荷が少ないこと
道路路肩や法面の防草対策及び効果的な除草の技術	<ul style="list-style-type: none"> ◇特になし
防草コンクリートやシートよりも安価に職員や道路パトロール員でも簡単に作業できる環境に優しい薬剤による雑草抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ◇根を枯らすことなく雑草の成長を抑制する ◇人やペットへの影響がない
薬剤散布または土質改良で除草効果が長期的に期待できる技術	<ul style="list-style-type: none"> ◇施工が容易であること ◇安価であること ◇公園利用者の安全性が確保されること
動物の糞尿や風雨等自然環境の影響を受けない耐久性のある防草シート	<ul style="list-style-type: none"> ◇住宅地の路地で狭隘な土地 ◇軽量かつ短時間で施工ができる
路面の防草技術	<ul style="list-style-type: none"> ◇舗装の亀裂から生える草の対処
ため池堤体法面の安価な機械除草	<ul style="list-style-type: none"> ◇傾斜がある広範囲の除草 ◇機械の入れないところでも除草可能